

=====

** 日本学術会議ニュース・メール ** No.813** 2022/9/16

=====

1. 【御案内】 持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD2022)

インタビュー第三弾 小谷元子 東北大学理事・副学長

2. 【開催案内】 社会的共通資本寄付講座キックオフシンポジウム

「これからの社会的共通資本 (Future of SCC)」

3. 【採用情報】 学術調査員 (非常勤) (国際) を募集しています

■ -----

【御案内】 持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD2022)

インタビュー第三弾 小谷元子 東北大学理事・副学長

----- ■

2021年12月2日に開催された国連総会において、2022年を「持続可能な発展のための国際基礎科学年 (IYBSSD)」(The International Year of Basic Sciences for Sustainable Development)とすることが決議されました (令和4年 (2022年) 6月30日から令和5年 (2023年) 6月30日までの1年間)。この取組は、持続可能な発展のための基礎科学の重要性を認め、認識を高めるよう呼びかけるもので、日本学術会議は、IYBSSD サポート機関として、本国際年に関する国内の取組を推進します。

この度、第一線で活躍する様々な学術分野の先生に、基礎科学についてのお話を伺いました。第三弾は小谷元子 東北大学理事・副学長です。

「数学 その発見の喜び」

<https://www.youtube.com/watch?v=mMp540SEow8> (YouTube へリンク)

今後も定期的に学術会議 YouTube チャンネルにインタビュー動画を掲載していく予定です。是非御覧ください。

○IYBSSD2022 特設ページ

https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/iybssd_s/index.html

○IYBSSD2022 プロモーションビデオ

https://www.youtube.com/watch?v=sbX_myImo28

(日本学術会議 YouTube チャンネルへリンク)

■ -----

【開催案内】 社会的共通資本寄付講座キックオフシンポジウム

「これからの社会的共通資本 (Future of SCC)」

-----■
【日時】 2022 年 10 月 10 日 (月・祝) 13 : 00~15 : 40

【場所】 東京大学伊藤国際学術研究センター地下 2 階

伊藤謝恩ホール (東京都文京区本郷 7-3-1) ※ハイブリッド形式

【主催】 「社会的共通資本」 寄付講座 (株式会社良品計画) 寄付講座代表

松島 齊

【共催】 東京大学金融教育研究センター (CARF)、

【後援】 日本学術会議、東京大学グローバル・コモンズ・センター (CGC)、

東京大学マーケットデザインセンター (UTMD)、東京大学政策評価研

究教育センター(CREPE)、東京大学フィンテック研究フォーラム

【開催趣旨】

地球環境、平等社会、経済発展を総合的にとらえ、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にする「社会的共通資本」に世界中が関心を寄せている。社会的共通資本の概念を如何に進展させ、未来の社会システムのための制度設計に如何に取り組むかをあきらかにする、新しい経済学のためのシンポジウムである。

【プログラム】

<https://www.carf.e.u-tokyo.ac.jp/events/scc221010/>

【参加費】 無料

【定員】 100 人 (伊藤ホール)

【申込み】 要・事前申込み。

上記プログラムの URL よりお申込みください。

【問い合わせ先】

東京大学金融教育研究センター (CARF) 支援室

メールアドレス : carf@e.u-tokyo.ac.jp

-----■
【採用情報】 学術調査員 (非常勤) (国際) を募集しています

-----■
【採用内容】

職名 : 内閣府 日本学術会議事務局 上席学術調査員又は学術調査員 (非常勤)

採用予定者数 : 若干名

採用予定日 : 令和 4 年 11 月以降 (予定) (時期は応相談)

【業務内容】

日本学術会議が加盟する国際学術会議 (ISC) や IAP (InterAcademy Partnership) 等の国際学術団体や各国アカデミーに関する横断的な調査分析、

資料作成及び連絡調整

- (1)日本学術会議が毎年度主催している「持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議」に関する支援業務
- (2)日本学術会議が事務局の一翼を担う Future Earth プログラムに関する調査分析及び関係機関との連絡調整
- (3)上記以外で、日本学術会議が国際学術交流事業を実施する上で必要となる調査分析、資料作成及び連絡調整等

【勤務条件】

勤務地：東京都港区六本木 7-22-34

勤務時間：週 3 日程度（応相談）

1 日 5 時間 45 分（10:00～12:00；13:30～17:15）

年次休暇は非常勤国家公務員の規程により付与

任期：令和 5 年 3 月 31 日まで（勤務状況によっては延長もあり）

給与：上席学術調査員：日額 15,100 円又は 18,200 円／

学術調査員：日額 12,400 円（資格、経験等によりいずれか）

賞与・昇給・交通費無し

※上記の金額は、法律等の改正及び施行に伴って変更する場合がありますので、ご承知おきください。

【応募書類受付締切日】

令和 4 年 10 月 11 日（火）必着

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

内閣府 日本学術会議事務局参事官（国際業務担当）室

【募集要項】

<https://www.scj.go.jp/ja/other/chotatsu/pdf/220912.pdf>

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式 Twitter

https://twitter.com/scj_info

学術情報誌『学術の動向』最新号はこちらから

<http://jssf86.org/works1.html>

=====

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【日本学術会議ウェブサイトの常時暗号化について】

日本学術会議ウェブサイトは2021年10月1日より常時暗号化通信（TLS1.2）対応いたしました。

新 URL:<https://www.scj.go.jp>

日本学術会議ウェブサイトへのリンク、お気に入り等設定している場合は、お手数ですが「https」への修正をお願いいたします。

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

=====

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34